

がん診療連携拠点病院と たばこ対策

相談支援センターでの 禁煙支援や情報提供の 状況について

国立がん研究センター がん対策情報センター たばこ政策支援部
http://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/tobacco_policy/index.html

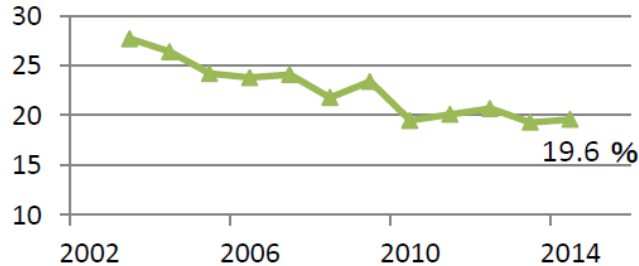
背景：がん対策の推進とたばこ対策①

- がん対策基本計画中間報告（がんの予防）
 - 今後の課題等に係るがん対策推進協議会の意見①
 - 発がんリスクの低減を図るため、たばこ対策についてより強力に推進する必要があるが、**まずは国民が喫煙の及ぼす健康影響について十分に認識することが重要**である。国民健康・栄養調査によると、すでに高い割合の国民が喫煙の健康影響について認識しているが、さらに認識を深めるために、たばこの包装への害の説明をより説得力のあるものにすることを提言すべきである。
- がん対策加速化プラン（予防）②たばこ対策
 - **たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）**や、海外のたばこ対策を踏まえた、必要な対策の検討
 - ※**FCTC**では需要の減少方策として、**第12条（教育、情報の伝達、訓練及び啓発）**、**第14条（たばこへの依存及びたばこの使用の中止についてのたばこの需要の減少に関する措置）**などが位置づけられている。

背景：がん対策の推進とたばこ対策②

たばこ対策

【課題1 喫煙率は近年下げ止まり】



出典：国民健康・栄養調査

【課題2 受動喫煙の機会を有する者の割合は未だ高い】

場所	受動喫煙者の割合
飲食店	46.8%
遊技場	35.8%
職場	33.1%

出典：平成25年国民健康・栄養調査

具体策

- ◆ FCTC※や海外のたばこ対策を踏まえた、必要な対策の検討
※Framework Convention on Tobacco Control (たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約)
- ◆ 厚生労働省としては、たばこ税の税率の引上げを継続して要望
- ◆ ラグビーW杯、東京オリンピック・パラリンピックに向けた受動喫煙防止対策の強化等

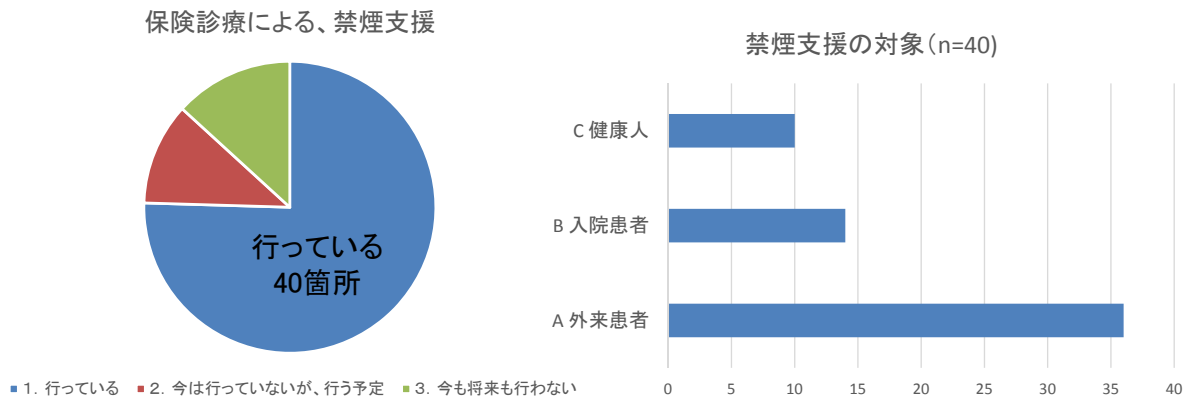
「がん対策加速化プラン」について（概要中より抜粋）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000107743.html>

背景：FCTC：12条、14条

- 12条（教育、情報の伝達、訓練及び啓発）
 - － 「・・・たばこの規制に関する問題についての啓発を促進し及び強化する。」
 - この実施のためのガイドラインがCOP4で採択された。
 - － **保健医療従事者の役割や保健医療施設での研修等**にも言及
- 14条（たばこへの依存及びたばこの使用の中止についてのたばこの需要の減少に関する措置）
 - － 「・・・たばこの使用の中止及びたばこへの依存の適切な治療を促進するため、（中略）効果的な措置をとる。」
 - この実施のためのガイドラインがCOP4で採択された。
 - － **禁煙支援を効果的に広め、適切な治療を提供する環境整備**に言及

2. 保険診療による禁煙支援は3/4の病院で行われている（2015年の報告より）

- 53病院中、40病院で保険診療による禁煙支援が行われている。
- 36病院（90%）が、外来患者を対象としている。



2

がん診療連携拠点病院とたばこ対策①

- 「情報提供」の中の予防のひとつ（最大）
 - 「受診者やその家族向けの禁煙のすすめや受動喫煙の影響などを含む情報提供をしている」：**36施設（68%）**
- 「相談」の内容のひとつ
 - 「相談支援センターの来所者に、対面による禁煙相談を行うことがある」：**26施設（49%）**
 - 「相談支援センターで、電話等による（対面によらない）禁煙相談を行うことがある」：**20施設（38%）**
- 「がん診療・療養」での1要素（3次予防的）
 - 「入院患者への禁煙支援や情報提供を診療部門と連携して行うことがある」：**21施設（40%）**
 - 「禁煙支援への誘導・流れを、診療科のクリニカルパスや指針などで位置づけている」：**21施設（40%）**
- その他（病院の特性に応じて様々ありうる）
 - 循環器や呼吸器疾患、HIV・結核等の総合的中核機関

がん診療連携拠点病院とたばこ対策②

- 活用されている情報提供・相談用の小冊子等
 - がんの冊子301「科学的根拠に基づくがん予防」
 - 都道府県で作成しているもの
 - 財団等で作成しているもの
 - 製薬企業が作成しているもの
 - 外部の禁煙外来の所在情報リストも活用
 - など
- 参考：がん情報サービス「たばこ政策情報」
 - <http://gdb.ganjoho.jp/tobacco/>
 - 都道府県の対策や禁煙支援などの情報へのリンクがあります

がん診療連携拠点病院とたばこ対策③

- クリニカルパスと禁煙支援（明記されたもの）
 - 全身麻酔を伴うクリニカルパスには禁煙に関する説明、支援が盛り込まれている（外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、泌尿器科、頭頸部・耳鼻咽喉科）
 - 診療各科での手術や検査等のクリニカルパスに位置づけられている
 - 呼吸器外科部のクリニカルパスで禁煙を位置づけている
 - 患者用パス(手術・呼吸器) には、オリエンテーションとして組み込まれている
 - 他、禁煙外来でパスを活用しているところもある

がん診療連携拠点病院とたばこ対策④

- 他禁煙支援のシステムの流れ（パス明示無）
 - － 診療科のテンプレートでの状態、状況確認（富山）
 - － 入退院支援室で、電子カルテに記載の注意事項その他を確認している（診療科により様々）（長野）
 - － 術前管理センターがあり手術予定の患者にはチェックされ対応するシステムとなっている（岐阜）
 - － 術前看護外来において、喫煙者に対して指導をし、必要に応じ診療科等での処方または禁煙外来の紹介をしている（岡山）
 - － 食道外科では、周術期外来が組み込まれており、全例に禁煙支援が提供されている（国がん東）

がん診療連携拠点病院とたばこ対策⑤

- その他：たばこ対策に関して
 - － 社会全体の問題（病院だけの問題ではない）
 - － 入院中の禁煙支援のあり方が課題
 - 「ニコチン依存症管理料」は外来
 - － 禁煙外来の設置、活用
 - 「総合診療科・喫煙問題対策センター」
 - － 情報提供や院内連携に取り組みたい
 - － 禁煙デーなどPR活動もつづける
 - － 中高生などへの啓発も重要
 - － 参考
 - 病院の方針の明確化、広報等でも啓発

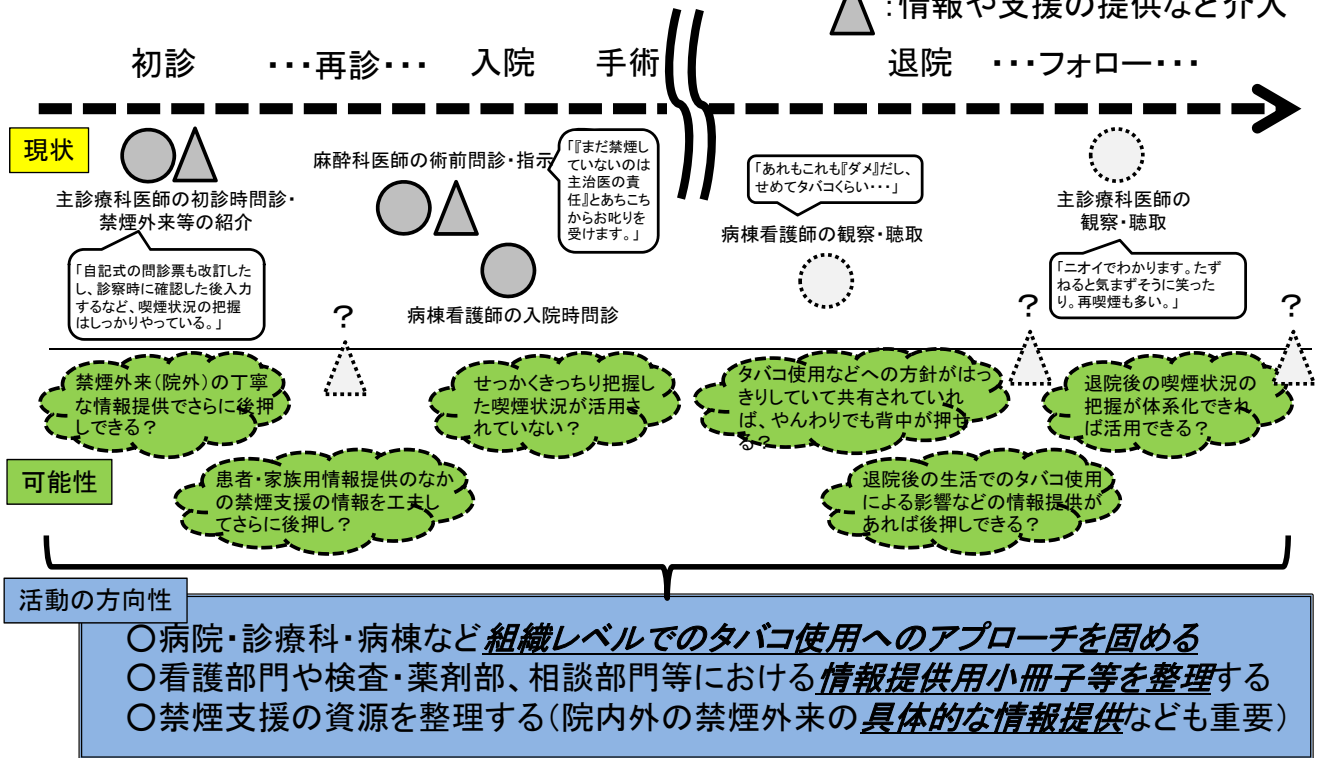
参考：がん診療におけるたばこ対策の現状と可能性、活動の方向性のイメージ

例：紹介等で予定入院から手術、退院への流れ

※吹き出しのセリフは、見聞きしたことなどから創作したイメージです。

●：タバコの使用状況の把握

▲：情報や支援の提供など介入



～身体にも地球にも優しい生活～



ありがとうございました

- 1) 患者・家族へのたばこに関する情報提供
- 2) パスを含めたシステム的な対応の体制構築

これからも「現場」をよろしくお願いします